



発行 第 71 号  
 平成25年 5月23日(木)  
 いわき市総合教育センター  
 いわき市平字堂根町1-4  
 0246(22)3705

### これからの社会に求められる人材の育成

平成25年4月25日、中央教育審議会では「第2期教育振興基本計画(答申)」を取りまとめた。少子高齢化、グローバル化、雇用の変化、地域社会や家庭の変容など、多様で変化の激しい新たな社会に適合した「知識を基盤とした自立、協働、創造モデルとしての生涯学習社会の実現」が提示された。さらに、その実現に向けた教育行政の4つの基本的方向性(ビジョン)が示された。以下、その4つの基本的方向性の概要について紹介する。

#### 1 社会を生き抜く力の育成

- 生きる力の確実な育成(幼稚園～高校)
  - 生涯にわたる学習の基礎となる「自ら学び、考え、行動する力」などを確実に育てる。
- 課題探求能力の修得(大学～)
- 自立・協働・創造に向けた力の修得(生涯学習)
- 社会的・職業的自立に向けた力の育成

#### 2 未来への飛躍を実現する人材の養成

- 新たな価値を創造する人材、グローバル人材等の育成

#### 3 学びのセーフティネットの構築

- 意欲ある全ての者への学習機会の確保
- 安全・安心な教育研究施設の確保

#### 4 絆づくりと活力あるコミュニティの形成

○ 互助・共助による活力あるコミュニティの形成  
 ここで確認しておきたいことは、4つの基本的方向性は、学習指導要領の目指す理念である「生きる力」と重なり合うことである。特に、学力については、基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学ぶ意欲の3要素をバランスよく育成することにより、生涯にわたって学習するための基礎を培うことを重視しており、各小中学校には、「社会を生き抜く力」「未来への飛躍を実現する人材の育成」の実現に向けた具体的な取り組みが期待されている。



【参考 初等教育資料 Apr. 2013 No.898】

免許状更新講習を受講する先生方の負担を少しでも軽減させたいという思いから、今年度より、当センターでも受講できるようになりました。



### 「教育相談係」から

平成25年度の教育相談を開始し、1ヶ月余り経ちました。4月は例年に無い相談件数の多さでした。

特に、新学期開始後間もない時期にも関わらず、不登校児童生徒のためのチャレンジホーム通級に関する相談が目立ちました。

早期に我が子の不適応傾向を払拭したい保護者の不安を感じます。

今年度も家庭や学校現場を支えるべく、専門的教育相談員や関係機関等へのリファー(紹介)を的確に行い、児童生徒の状態の改善、安定に努めていきますので、連携をよろしく願います。

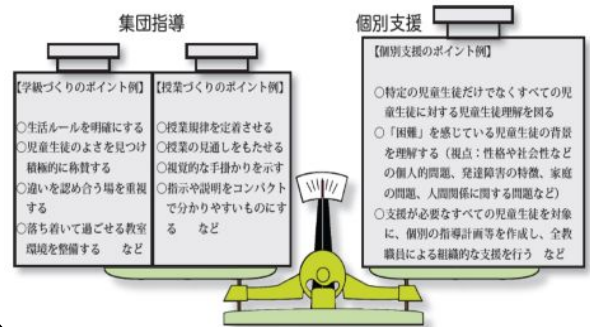


### 特別支援教育から

～ 通常の学級における支援を考える～

◆ 発達障がいやその傾向のある児童生徒がいる学級では、その児童生徒を特別視するのではなく、他の児童生徒よりもつまずきやすいという見方で集団指導を工夫することがよりよい支援に結びつくと言われています。一人一人を大切にしたい集団づくりを考えていきたいものです。

#### ◆ 参考資料 バランスのよい集団指導と個別支援



国立教育政策研究所「Leaf.3」引用

### 「免許更新講習」について

- (1) 免許更新講習の開設種別
  - 選択講習を開設します。
- (2) 対象
  - 第5グループ(平成27年度3月31日に修了確認期限を迎える現職教員)
- (3) 留意事項
  - 勤務の取り扱いは職務専念義務免除となります。
  - 講習を欠席する場合は、「研修者に関する変更について」を総合教育センター所長宛に提出してください。

